



昔学生時代に某飲食店で4年ほど働いていたことがある。意外と学生のバイトというのも侮れないもので、そこから得た経験というのはいままでに生きている。表題はとあるチェーン店のキャッチコピー



鳥取県立中央病院、鳥取大学医学部地域医療学講座 涌波 優

ーになるのだが、あらゆるファストフード店の目標となるようキャッチコピーに思われる。先目ふと「うまい やすい はやい」の順番は昔と違うのではなか？」と思いついてインターネットで検索すると、ど

うやら時代とともにアピールの順番は変わっているとのことであった。重要視する順番に若干の違いはありそうだが、どのファストフード店に

## はやい うまい やすい 地域医療

「先目ふと」「うまい やすい はやい」の順番は昔と違うのではなか？」と思いついてインターネットで検索すると、ど

毎月のように季節限定メニューが出る中、店員はバイトだらけにもかかわらず、それが成り立っているというのはいくも考えてみるとなかなかのことである。「最新情報」を得ようとしなくとも情報が代になるだろう。

「はやい」の順番は昔と違うのではなか？」と思いついてインターネットで検索すると、ど

「はやい」「やすい」を期待して

医師として地域に出る分

野の知識を持った上手い診

療。その上で、地域全体の医

療経済を考え無駄な検査や治療を省いた安い診療が望まれるのではないだろうか。

都会の大病院にいないと最新情報が手に入らなかった時代もあったと聞く。しかし最近ではガイドラインがどんどん作成され、医療の標準化もかなり進み、インターネットで調べればすぐに最新の論文や情報が手に入る時代になっている。これまでタイムラグがあった都会と地域の差は徐々に狭まっている時代である。今後地域医療は、いままでよりもさらに、はやくてう

まてやすい医療に進歩していくのではないだろうか。非常に楽しみな領域である。

(鳥取市)